

## 【京都力の発揮】(1) 人づくり

### ① 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
<b>Ⅲ 京都力の発揮</b>						
<b>(1) 人づくり</b>						
1 府内に所在する学部・研究科・学科の学生数	150.0					
2 府内の留学生の数	78.7					
3 京都企業に就職した留学生の数(累計)	104.3					
4 国際交流会議等に主体的に参画する青少年の数(延べ人数)(年間)	397.6					
5 関西文化学術研究都市に立地する大学、研究機関の特許の登録件数(年間)	105.9					
6 特定分野(伝統産業)の専門人材を育成する高等教育機関の設立	達成					
7 特定分野(林業)の専門人材を育成する高等教育機関の設立	達成					
8 高等技術専門校の修了者の就職率(3月末現在)	-1000.0					
9 新規就農・就業者数(年間)	293.9					
10 林業における新規就業者数(年間)	-60.0					
11 漁業における新規就業者数(年間)	380.0					
12 一般財団法人地域公共人材開発機構と連携した大学・大学院の講座で10単位以上取得した人の数(年間)	110.4					
13 府内の地域力再生活動を支援する専門アドバイザーの登録数(3月末現在)	81.8					
14 地域人材育成研修の受講者数(累計)	514.3					

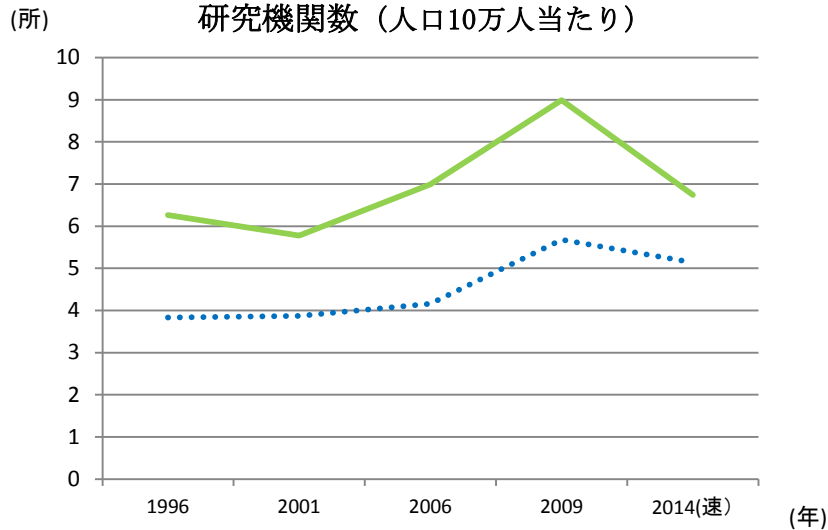
※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

また、2014 年度実績が現時点で判明していない指標については、直近の実績をもとに進捗率を示している。

## ② 統計データ及び施策指標の動き

### 統計データ

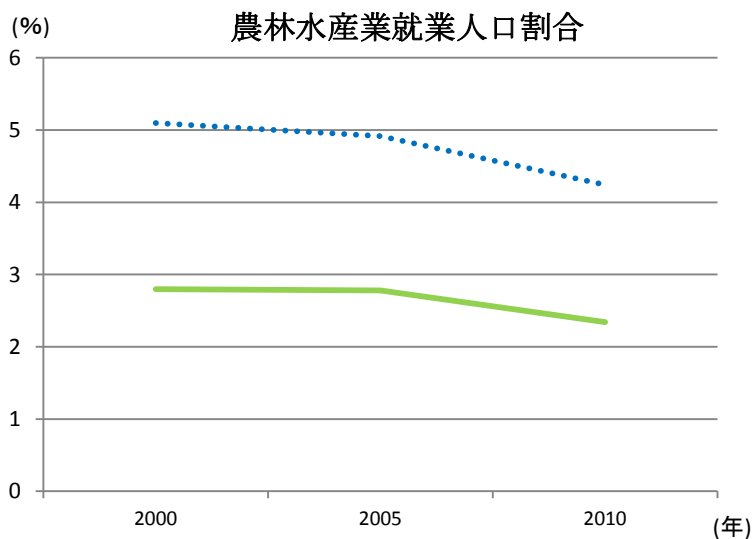
※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。



資料: 2006年までは事業所・企業統計、2009年、2014年は経済センサス-基礎調査

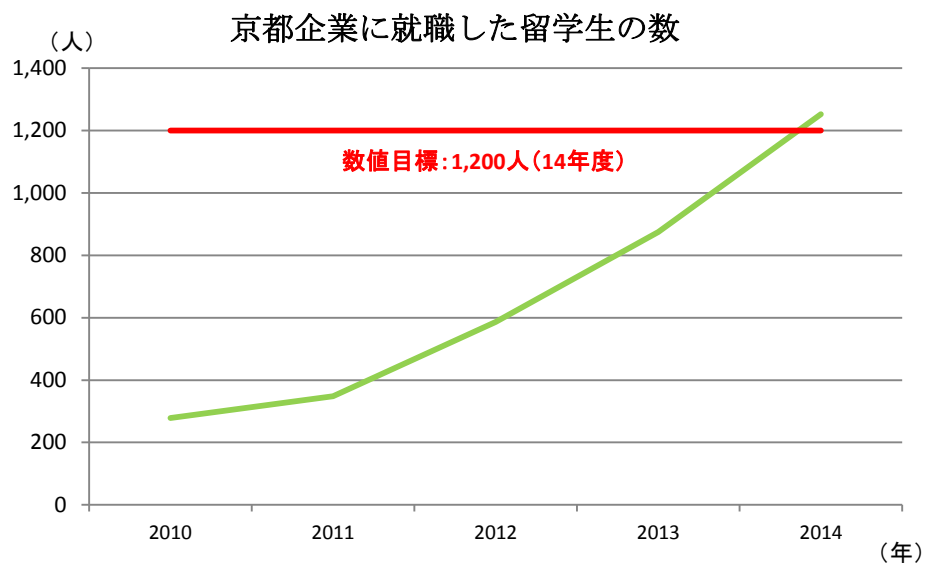
注・経済センサスは事業所・企業統計調査(2006年まで実施)と調査の対象は同様だが、調査手法が以下の点において異なることから、2006年事業所・企業統計調査との差数が全て増加・減少を示すものではない。

- ・商業・法人登記等の行政記録の活用
- ・会社(外国の会社を除く)、会社以外の法人及び個人経営の事業所の本社等において、当該本社等の事業主が当該支所等の分も一括して報告する「本社等一括調査」の導入等によって、国においては統計表の時系列比較を行っていない。

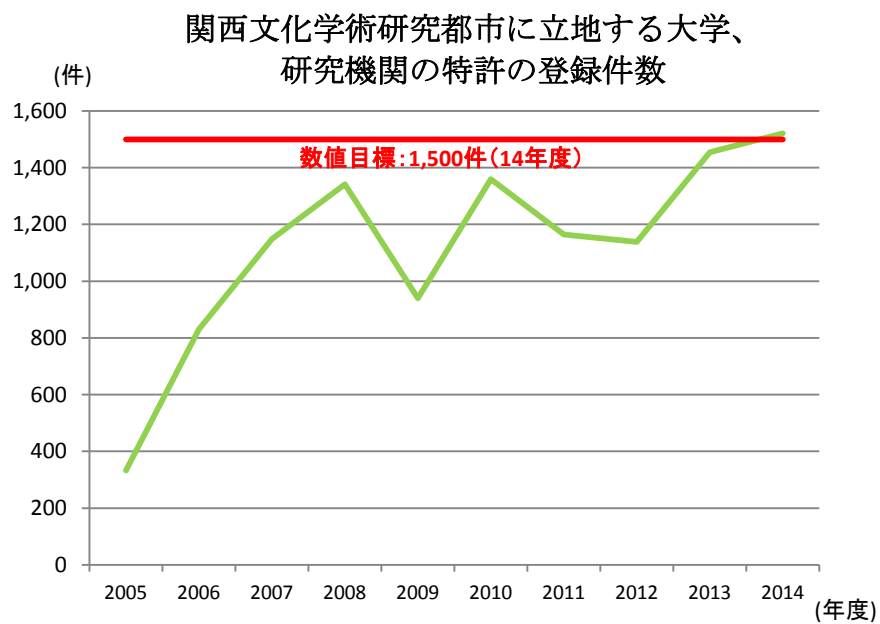


資料: 国勢調査(総務省)

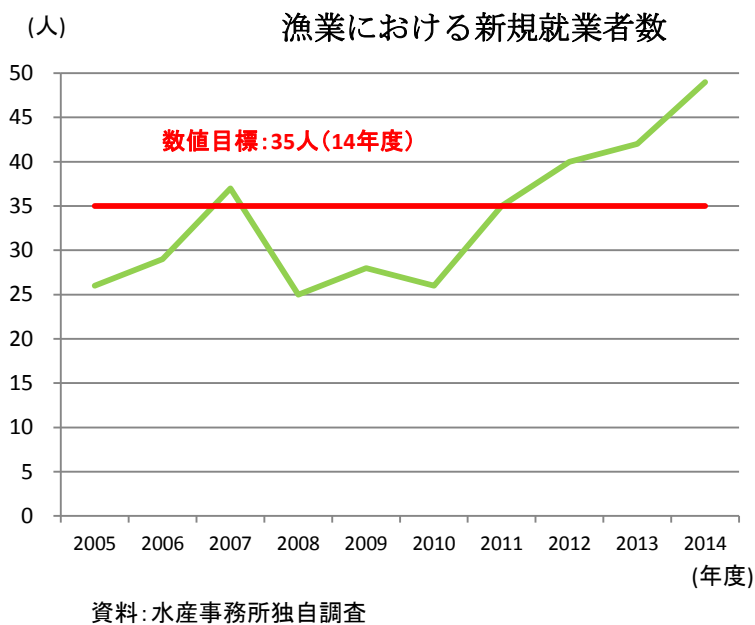
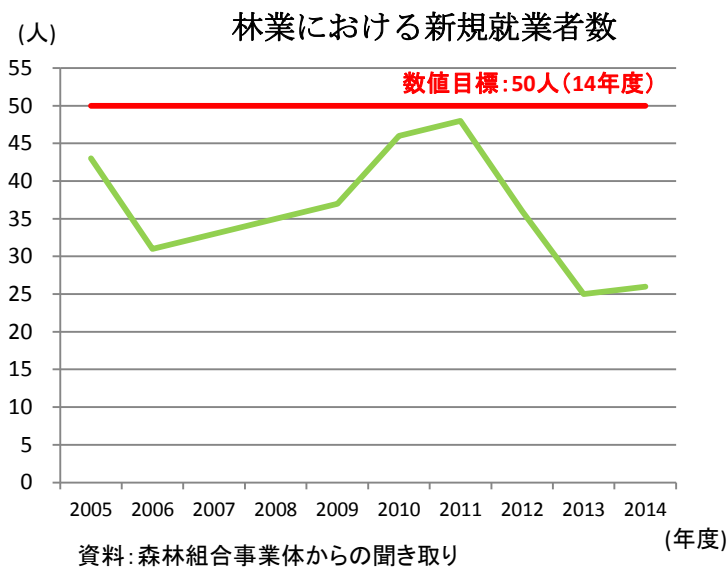
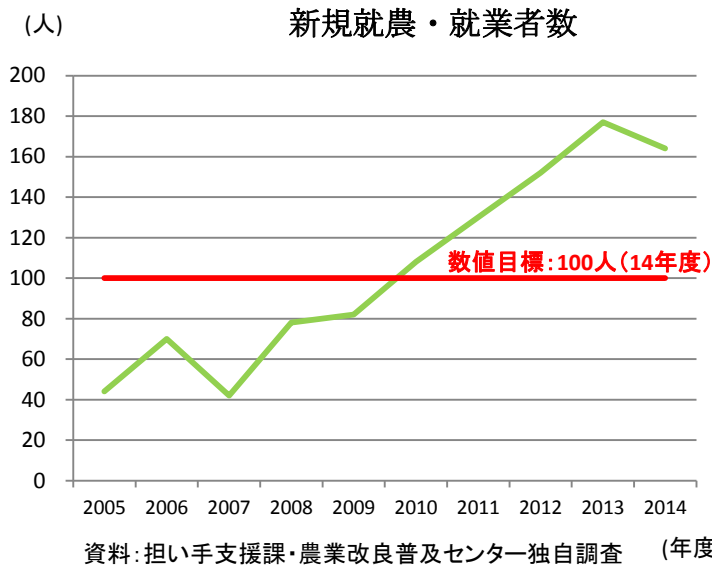
## 施策指標



資料:留学生等の日本企業等への就職状況について(法務省入国管理局)



資料:大学、企業等からの聞き取り



### ③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(1)人づくり〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<input checked="" type="checkbox"/> これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
大学の学生、教員、研究者が増えること	<input checked="" type="checkbox"/> 大学・短期大学の学生数（人口10万人当たり）
	<input type="checkbox"/> 府内に所在する学部・研究科・学科の学生数
京都で学び、活動し、働く留学生が増えること	<input checked="" type="checkbox"/> 留学生数（人口10万人当たり）
	<input type="checkbox"/> 府内の留学生の数
	<input type="checkbox"/> 京都企業に就職した留学生の数（累計）
国際理解教育や事業が進展すること	<input type="checkbox"/> 国際交流会議等に主体的に参画する青少年の数（延べ人数）
世界的に評価される研究成果が上がること	<input checked="" type="checkbox"/> 研究機関数（人口10万人当たり）【2012年実績】
	<input type="checkbox"/> 関西文化学術研究都市に立地する大学、研究機関の特許の登録件数
各分野で将来を担う人材が育つこと	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業就業人口割合【2010年実績】
	<input type="checkbox"/> 特定分野（伝統産業、林業）の専門人材を育成する高等教育機関の設立
	<input type="checkbox"/> 高等技術専門校の修了者の就職率
	<input type="checkbox"/> 新規就農・就業者数
	<input type="checkbox"/> 林業における新規就業者数
地域に根ざしてまちづくりを牽引する人が増えること	<input type="checkbox"/> 一般財団法人地域公共人材開発機構と連携した大学・大学院の講座で10単位以上取得した人の数
	<input type="checkbox"/> 府内の地域力再生活動を支援する専門アドバイザーの登録数
	<input type="checkbox"/> 地域人材育成研修の受講者数（累計）

注：2013年版報告書以降に実績値の更新がない指標の推移、水準は( )付きで記載

②⑦当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
☆	91	
☆	◎	京都府公立大学法人運営費交付金
☆	◎	京都学生祭典開催助成費
☆	◎	大学のまち京都留学生応援事業費
☆	△	京都府名誉友好大使任命事業費
☆	◎	留学生スタディ京都ネットワーク(仮称)事業費
☆	◎	国際交流事業費
		グローバル人材育成推進事業費
		府立高校生グローバルチャレンジ500事業費
(★)	(◎)	けいはんなオープンイノベーションセンター活用推進事業費
☆	◎	
★	51	中核新規就農者倍増事業費
(★)	(△)	農業者経営復興特別支援事業費
—	◎	農業経営実践型学舎事業費
★	×	丹後10次産業化拠点づくり事業費
★	◎	
☆	×	
☆	◎	
☆	◎	
☆	△	
☆	◎	

凡例	
■ 府民意識調査	
推 移: ☆	前より向上
★	前より後退
水 準:	割合(%)
◆ 統計データ	
推 移: ☆	前より改善(前回と同値を含む)
★	前より後退
水 準:	◎ 全国順位5位以上
	○ 全国平均以上
	△ 全国平均未満
	× 全国下位5位以下
□ 施策指標	
推 移: ☆	前年度実績以上
★	前年度実績未満
水 準:	◎ 中期計画目標達成
	○ 参考年間目標以上
	△ 参考年間目標未満かつ基準値以上
	× 基準値未満
(共通)	— 比較不能

## 【京都力の発揮】（２）環境の「みやこ」

### ① 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
<b>Ⅲ 京都力の発揮</b>						
<b>(2) 環境の「みやこ」</b>						
1 府内温室効果ガス総排出量(年間)	-13.9					
2 大規模排出事業者の温室効果ガス排出量(年間)	163.7					
3 太陽光発電設備を導入している戸建住宅数(累計)	114.1					
4 EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)の登録台数(3月末現在)	73.5					
5 「ウッドマイレージCO <sub>2</sub> 」認証等製品出荷量(年間)	85.9					
6 府内における一般廃棄物排出量(年間)	61.1					
7 リサイクル率(年間)	35.7					
8 景観計画の策定状況(3月末現在)	66.7					
9 京都府景観資産の登録件数(3月末現在)	47.1					
10 「京の景観パートナーシップ」の登録団体数(3月末現在)	0.0					
11 府内における産業廃棄物投棄量(年間)	68.2					
12 交通量の多い市街地における自動車交通騒音の環境基準達成率	500.0					
13 BOD(生物化学的酸素要求量)及びCOD(化学的酸素要求量)に係る環境基準達成率(年間)	-300.0					
14 浮遊粒子状物質、二酸化窒素の大気中濃度に係る環境基準達成率(年間)	100.0					
15 府等の環境教育・学習の機会に参画する人の数(延べ人数)(年間)	83.5					
16 府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への参画者数(延べ人数)(年間)	300.0					
17 認定保全回復事業の認定件数(累計)	100.0					
18 府民協働による保全回復事業の協定の認定件数(累計)	150.0					
19 エコポイント事業に参画する府内の一般家庭の数(3月末現在)						
20 自然環境と調和したライフスタイルを実践する人の割合						
21 府内において「絶滅種」に指定された野生生物種等の数						

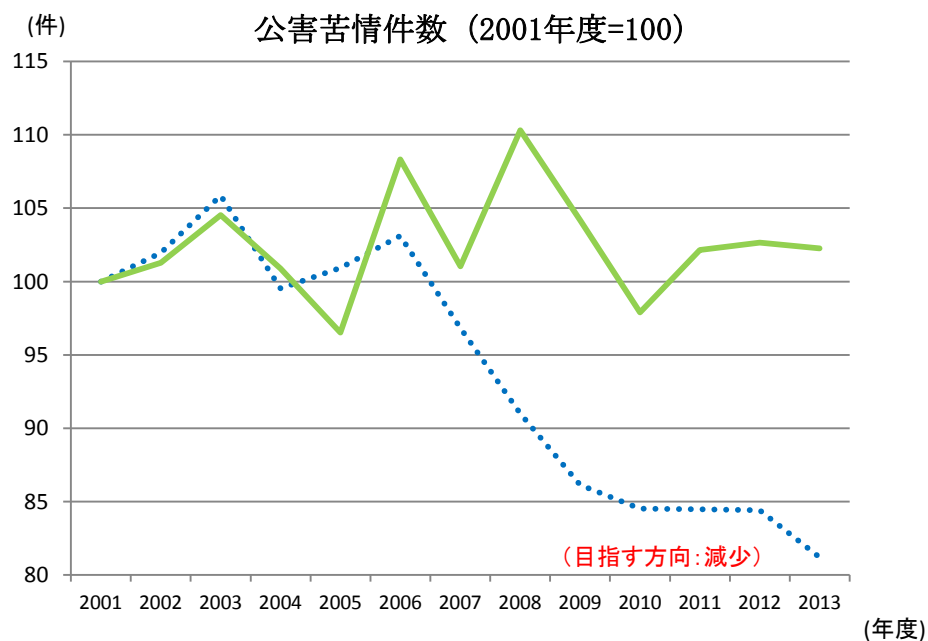
※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

また、2014 年度実績が現時点で判明していない指標については、直近の実績をもとに進捗率を示している。

## ② 統計データ及び施策指標の動き

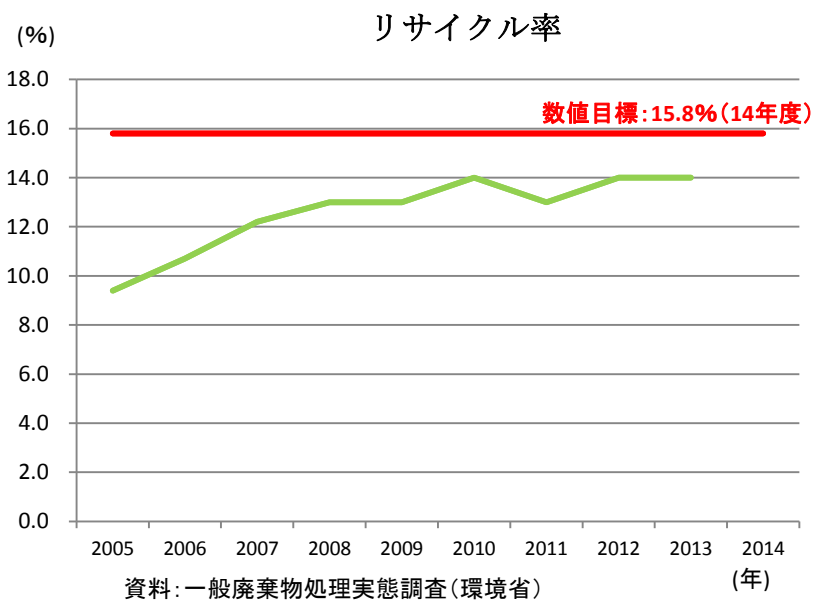
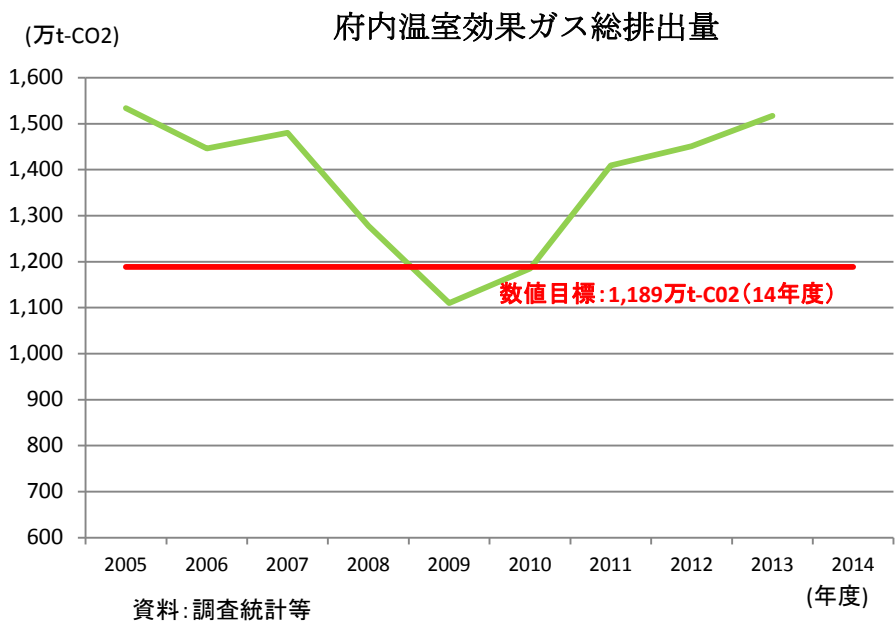
### 統計データ

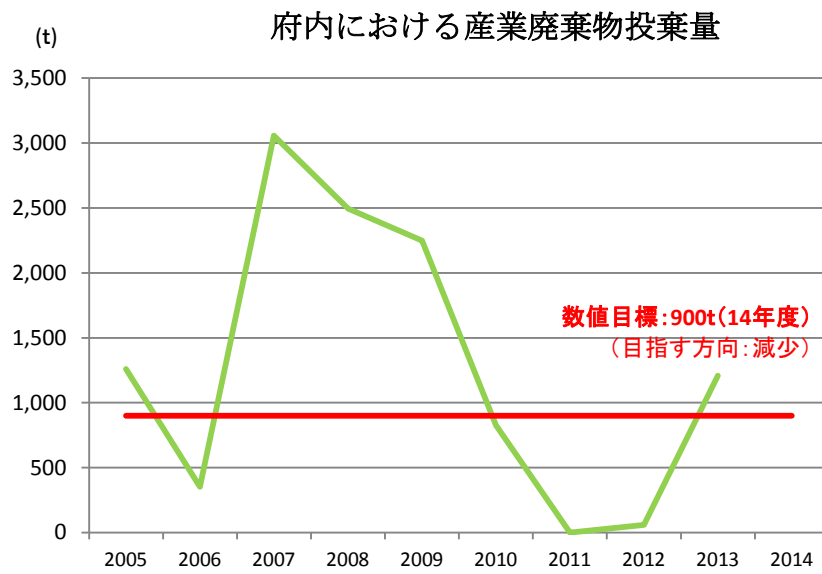
※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。





# 施策指標





資料: 産業廃棄物の不法投棄等の状況について(環境省) (年度)

### ③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(2)環境の「みやこ」〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合</li> </ul>
府内のCO2排出量が減少すること	◆ 府民総生産当たりエネルギー消費量（最終エネルギー消費量／実質府民総生産）【2012年度実績】
	□ エコポイント事業に参画する府内の一般家庭の数【2012年度実績】
	□ EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド自動車)の登録台数
	□ 「ウッドマイレージCO <sub>2</sub> 」認証等製品出荷量
	□ 太陽光発電設備を導入している戸建住宅数（累計）
	□ 府内温室効果ガス総排出量【2013年実績】
	（参考：電力排出係数を2010年度実績に固定した場合の府内温室効果ガス総排出量【2013年実績】）
	□ 大規模排出事業者の温室効果ガス排出量【2013年実績】
リユースやリサイクルをはじめとした資源循環の仕組みが確立されること	□ 府内における一般廃棄物排出量【2013年実績】
	□ リサイクル率【2013年実績】
優れた景観の保全・創出箇所が拡大すること	■ 居住する市町村が優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合
	□ 景観計画の策定状況（景観計画の策定数（府含む。）／（府+市町村数））
	□ 京都府景観資産の登録件数
	□ 「京の景観パートナーシップ」の登録団体数
騒音や大気・水質などの状況が改善されること	◆ 公害苦情件数【2013年実績】
	□ 交通量の多い市街地における自動車交通騒音の環境基準達成率
	□ BOD（生物化学的酸素要求量）及びCOD（化学的酸素要求量）に係る環境基準達成率
	□ 浮遊粒子状物質、二酸化窒素の大気中濃度に係る環境基準達成率
廃棄物の不法投棄が抑止されること	□ 府内における産業廃棄物投棄量【2013年実績】
自然環境と調和したライフスタイルが拡大すること	■ 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合
環境について理解を深める機会が拡大すること	□ 府等の環境教育・学習の機会に参画する人の数（延べ人数）
	□ 府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への参画者数（延べ人数）
	□ 府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への参画者数（延べ人数）
多様な生き物の生命が大切にされること	□ 府内において「絶滅種」に指定された野生生物種等の数
	□ 認定保全回復事業の認定件数（累計）
	□ 府民協働による保全回復事業の協定の認定件数（累計）

※1 原子力発電所停止後の電力需要における取組状況を明確にするため、2010年実績に固定して計算

※2 2014年度目標値390万t-co<sub>2</sub>は達成済み(2020年度目標値365万t-co<sub>2</sub>は未達成)

※3 2012年6月から事業実施

注：2013年版報告書以降に実績値の更新がない指標の推移、水準は( )付きで記載

②7 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
☆	91	
☆	◎	スマート・エコハウス促進事業費
※3	—	けいはんなe2未来都市創造推進費
☆	△	革新的エネルギーシステム創出事業費
☆	△	事業者CO2削減対策事業費
☆	○	京都EMS推進事業費
★	×	京都エコ・エネルギー産業創出・普及事業費
★※1	△※1	府庁CO2削減推進費
☆	◎※2	地球温暖化防止府民活動推進事業費
		府民力結集ソーラー発電推進事業費
		エネルギー安定供給インフラ開発事業費
		木質バイオマス発電構想策定費
		メタンハイドレート開発促進調査事業費
☆	△	産業廃棄物3R支援センター事業費
☆	△	産業廃棄物発生抑制等促進事業費
—	70	千年の都・鴨川清流事業費
☆	△	山陰海岸世界ジオパーク推進事業費
☆	△	
☆	△	
☆	△	大気汚染防止事業費
☆	◎	
★	×	
☆	◎	
★	△	不法投棄等防止対策事業費
★	69	豊かな里山再生事業費
☆	△	環境京都発信事業費
☆	◎	京都モデルフォレスト推進事業費
☆	◎	京都スマートシティエキスポ2015・国際シンポジウム開催費
☆	—	生物多様性戦略総合対策事業費
☆	—	
☆	—	

凡 例	
■ 府民意識調査	
推 移:	☆・・前回より向上 ★・・前回より後退
水 準:	割合(%)
◆ 統計データ	
推 移:	☆・・前回より改善(前回と同値を含む) ★・・前回より後退
水 準:	◎・・全国順位5位以上 ○・・全国平均以上 △・・全国平均未満 ×・・全国下位5位以下
□ 施策指標	
推 移:	☆・・前年度実績以上 ★・・前年度実績未満
水 準:	◎・・中期計画目標達成 ○・・参考年間目標以上 △・・参考年間目標未達かつ基準値以上 ×・・基準値未満

## 【京都力の発揮】（3）文化創造

### ① 数値目標に対する施策指標の達成状況

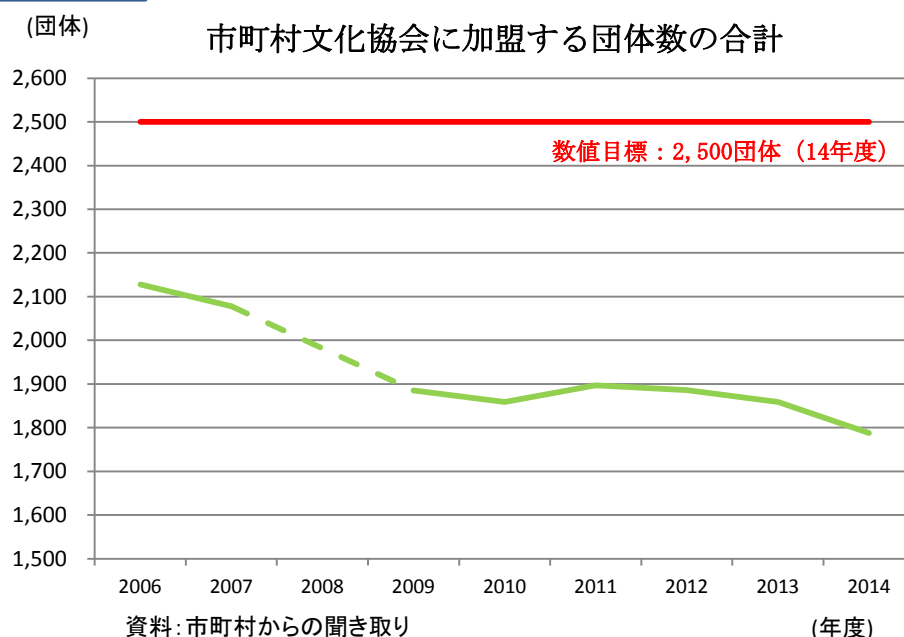
施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
<b>Ⅲ 京都力の発揮</b>						
<b>(3) 文化創造</b>						
1 府立の文化施設に来場した人の数(年間)	82.9	[進捗率グラフ: 82.9%]				
2 府が実施する次世代育成事業プログラム数(年間)	216.4	[進捗率グラフ: 216.4%]				
3 文化財講座等の参加者数(年間)	367.5	[進捗率グラフ: 367.5%]				
4 市町村文化協会に加盟する団体数の合計(4月1日現在)	-14.8	[進捗率グラフ: 斜線]				
5 植物園入園者数(年間)	47.8	[進捗率グラフ: 47.8%]				
6 週1回以上運動やスポーツを行う成人の割合	140.0	[進捗率グラフ: 140.0%]				
7 山城総合運動公園、丹波自然運動公園、伏見港公園、府民スポーツ広場の利用者数(年間)	5.7	[進捗率グラフ: 5.7%]				
8 府内の開放型地域スポーツクラブ・総合型地域スポーツクラブの設置数(7月1日現在)	121.4	[進捗率グラフ: 121.4%]				
9 10歳以上人口の茶道の行動率		[進捗率グラフ: 斜線]				
10 10歳以上人口の華道の行動率		[進捗率グラフ: 斜線]				

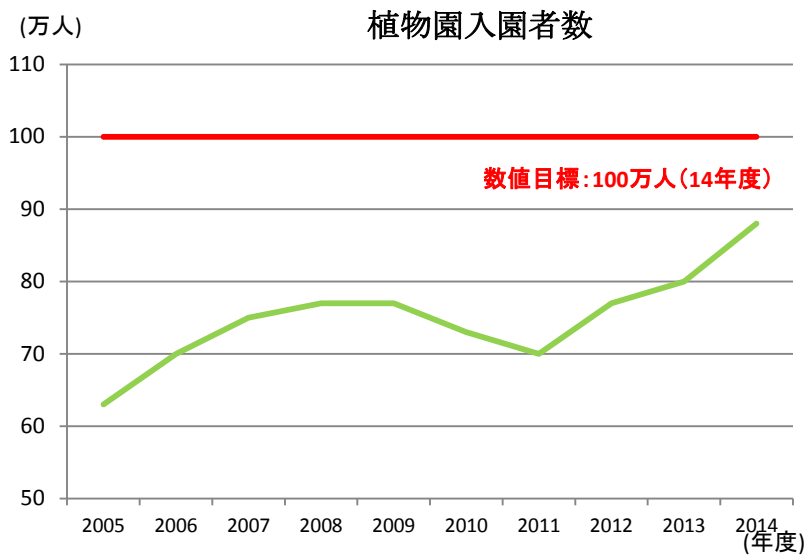
※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

また、2014年度実績が現時点で判明していない指標については、直近の実績をもとに進捗率を示している。

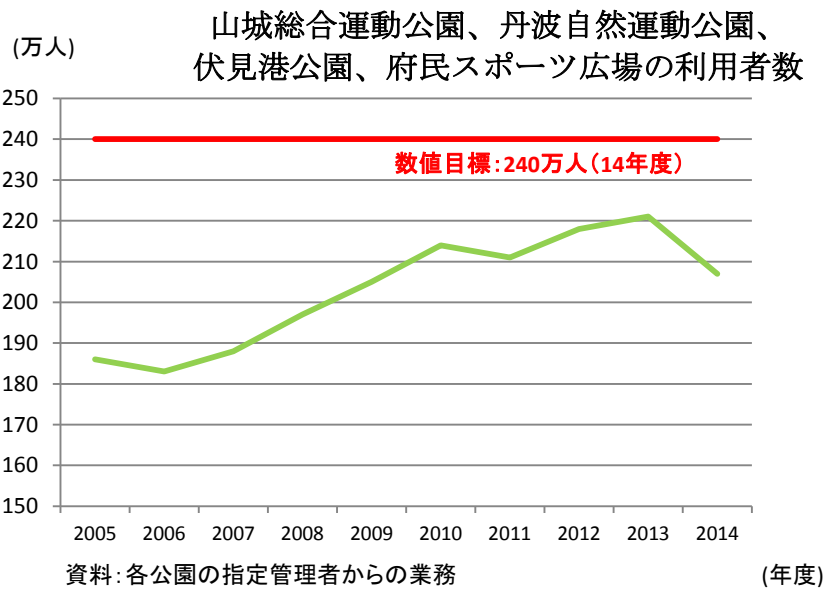
### ② 統計データ及び施策指標の動き

#### 施策指標





資料: 入園実績



資料: 各公園の指定管理者からの業務

### ③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(3)文化創造〕

基本目標	指標
全分野・事象 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合</li> </ul>
京都文化にふれる機会が増えること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 世界遺産登録件数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 茶道の年間行動者率（10歳以上）【2011年実績】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 華道の年間行動者率（10歳以上）【2011年実績】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 府立の文化施設に来場した人の数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 府が実施する次世代育成事業プログラム数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 文化財講座等の参加者数</li> </ul>
伝統文化をはじめ地域における文化活動が活発化すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住んでいる地域では地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の祭りや伝統行事などに参画している人の割合</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 市町村文化協会に加盟する団体数の合計</li> </ul>
新しい文化・芸術、スポーツの拠点づくりや活動が拡充されること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国民体育大会（本大会）の成績</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 植物園入園者数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 週1回以上運動やスポーツを行う成人の割合 【2012年度実績】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 山城総合運動公園、丹波自然運動公園、伏見港公園、府民スポーツ広場の利用者数</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 府内の開放型地域スポーツクラブ・総合型地域スポーツクラブの設置数</li> </ul>	

注：2013年版報告書以降に実績値の更新がない指標の推移、水準は( )付きで記載

⑳ 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
☆	91	
-	82	歴史的建造物等保存伝承事業費
☆	◎	北山文化環境ゾーン整備推進費
(★)	(×)	「文化のみやこ・京都」推進事業費
(★)	(×)	埋蔵文化財調査保存事業費
☆	△	祇園祭山鉾懸装品新調事業費補助金
☆	◎	2020京都文化フェア(仮称)開催準備費
☆	◎	高校生「京の文化力」推進事業費
		ミラノ国際博覧会関連事業費
		文化マーケット創出事業費
		新・世界遺産事業費
		和食文化高等教育機関設置推進費
		琳派400年記念祭開催費
		「こころの京都百選」巡回展開催費
		「まちかど美術館」事業費
		丹後歴史拠点充実費
		丹後歴史文化博物館(仮称)基本計画策定費
		新総合資料館(仮称)整備費
-	45	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費
☆	42	
★	×	
★	○	専用球技場整備費
☆	△	京都トレーニングセンター(仮称)整備費
(☆)	(◎)	スポーツ拠点施設充実費
★	△	京のアスリート育成・強化総合推進費
☆	◎	植物園魅力向上基盤整備事業費

凡例	
■ 府民意識調査	
推移:	☆…前回より向上 ★…前回より後退
水準:	割合(%)
◆ 統計データ	
推移:	☆…前回より改善(前回と同値を含む) ★…前回より後退
水準:	◎…全国順位5位以上 ○…全国平均以上 △…全国平均未満 ×…全国下位5位以下
□ 施策指標	
推移:	☆…前年度実績以上 ★…前年度実績未満
水準:	◎…中期計画目標達成 ○…参考年間目標以上 △…参考年間目標未満かつ基準値以上 ×…基準値未満
(共通) ……比較不能	



## 【京都力の発揮】（４）産業革新・中小企業育成

### ① 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
<b>Ⅲ 京都力の発揮</b>						
<b>(4) 産業革新・中小企業育成</b>						
1 中小企業応援条例に基づく「元気印中小企業」認定企業数(年間)	257.1	[進捗率: 約90%]				
2 中小企業応援条例に基づく「知恵の経営」実践モデル認証企業数(年間)	-12.5	[進捗率: 0%]				
3 京もの認定工芸士の認定者数(3月末現在)	134.0	[進捗率: 約90%]				
4 地域団体商標登録数(3月末現在)	40.0	[進捗率: 約30%]				
5 京都府上海ビジネスサポートセンターの支援による中小企業の成約件数(累計)	460.0	[進捗率: 約90%]				
6 京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量(年間)	72.3	[進捗率: 約90%]				
7 京都舞鶴港における貿易取扱量(年間)	259.6	[進捗率: 約90%]				
8 京都舞鶴港の定期航路数(3月末現在)	100.0	[進捗率: 約90%]				
9 中小企業応援隊による中小企業実訪問企業数(年間)	68.4	[進捗率: 約70%]				
10 きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる新規創業支援件数(累計)	94.3	[進捗率: 約90%]				
11 地域づくり優良工事の数(年間)	431.8	[進捗率: 約90%]				
12 府内を訪れた観光客の消費額総額(年間)	114.8	[進捗率: 約90%]				
13 府内を訪れた観光客の一人当たり消費額(年間)	52.0	[進捗率: 約50%]				
14 農業・林業・漁業の生産活動による最終生産物の生産額(年間)	-200.0	[進捗率: 0%]				
15 新品種を導入した品目の販売額(年間)	100.0	[進捗率: 約90%]				
16 農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人等の数(3月末現在)	115.8	[進捗率: 約90%]				
17 府内の森林から生産し供給される間伐材の量(年間)	58.3	[進捗率: 約70%]				
18 新たに定められる「ほんまもん京ブランド40」に該当する農林水産物・加工品の販売額(年間)	32.0	[進捗率: 約30%]				
19 京都府輸出促進協議会において輸出に向けて取り組んだ農林水産物・加工品数(累計)	1100.0	[進捗率: 約90%]				
20 きょうと農商工連携応援ファンドに取り組む事業者数(年間)	116.7	[進捗率: 約90%]				
21 実質GDP成長率(年間)		[進捗率: 斜線]				
22 企業立地件数(年間)		[進捗率: 斜線]				
23 府内の倒産企業の件数(年間)		[進捗率: 斜線]				
24 府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度)		[進捗率: 斜線]				

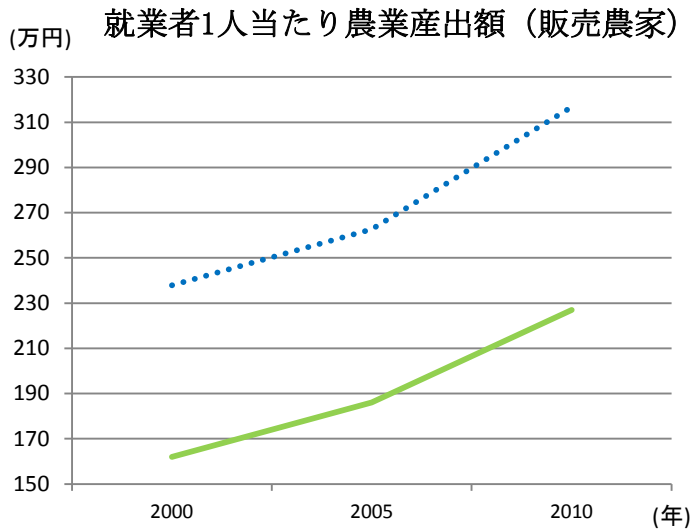
※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

また、2014年度実績が現時点で判明していない指標については、直近の実績をもとに進捗率を示している。

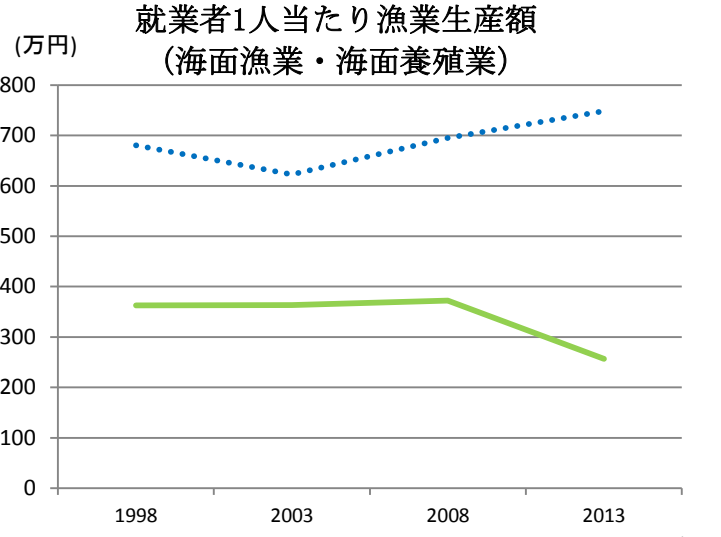
## ② 統計データ及び施策指標の動き

### 統計データ

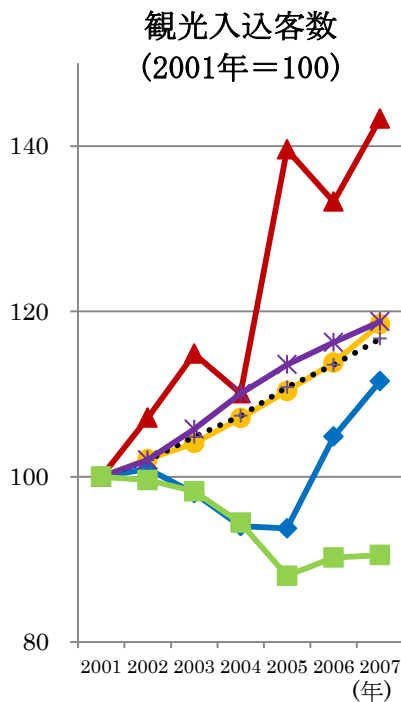
※推移グラフ中、点線は全国を、実線は京都府を示している。



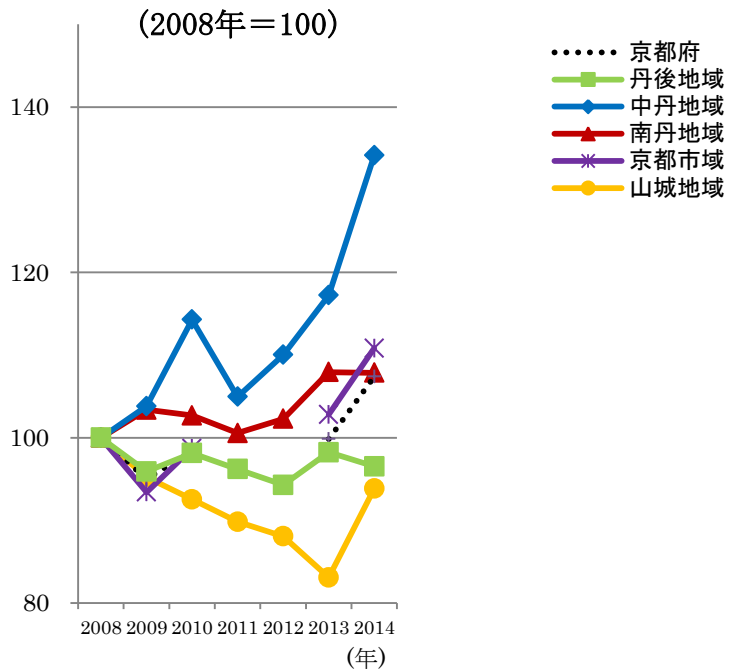
資料：農業センサス、生産農業所得統計  
(農林水産省)



資料：漁業センサス、漁業・養殖業生産統計年報  
(農林水産省)



資料：京都府観光入込客数

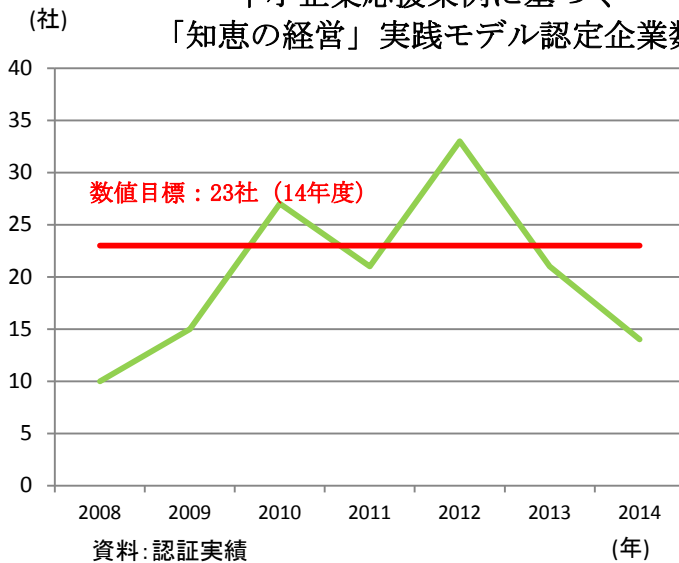


(注)08年から、調査地点が変更されたため、07年までの実績値との比較ができない。

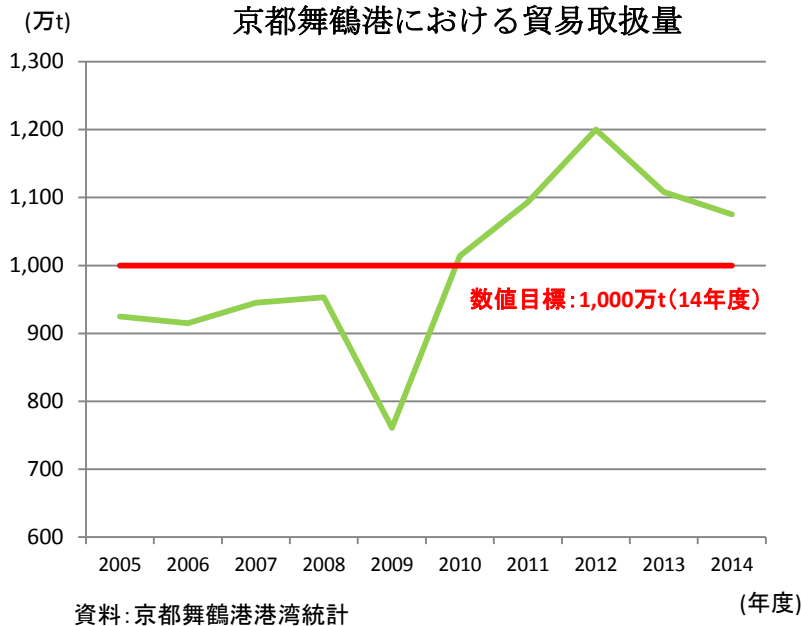
京都市域分の集計結果が未公表のため、京都市域・京都府(総計)の11・12年値は未計上

## 施策指標

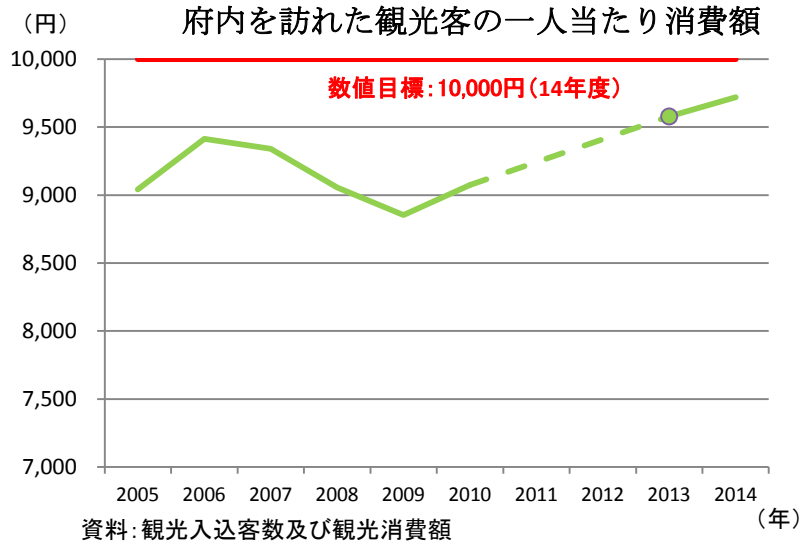
中小企業応援条例に基づく  
「知恵の経営」実践モデル認定企業数

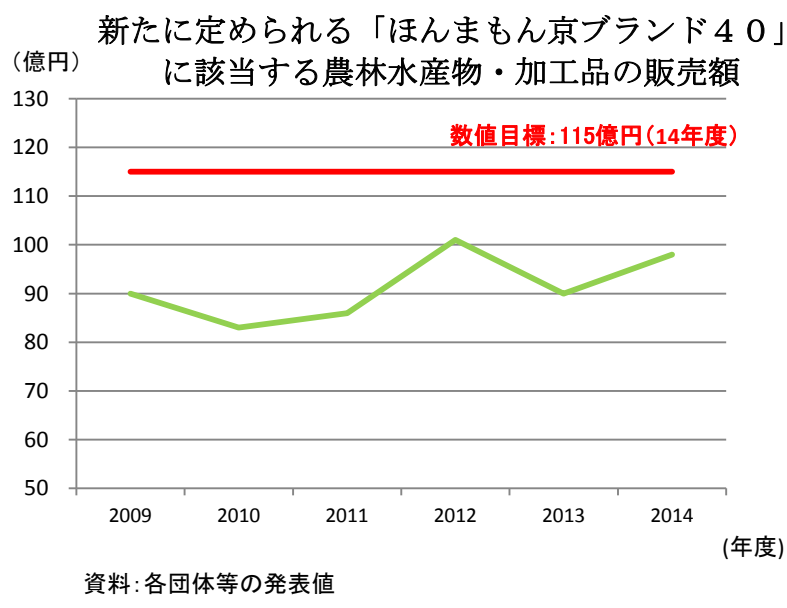
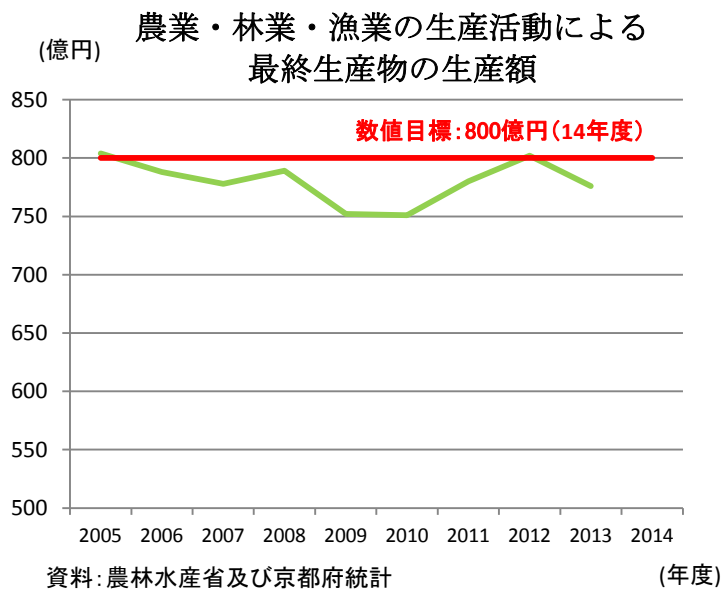


京都舞鶴港における貿易取扱量



府内を訪れた観光客の一人当たり消費額





### ③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(4)産業革新・中小企業育成〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<input checked="" type="checkbox"/> これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合
京都の強みや技術力をいかした産業が育つこと	<input checked="" type="checkbox"/> 特許出願件数（人口10万人当たり）
	<input type="checkbox"/> 企業立地件数
	<input type="checkbox"/> 中小企業応援条例に基づく「元気印中小企業」認定企業数
	<input type="checkbox"/> 中小企業応援条例に基づく「知恵の経営」実践モデル認証企業数
	<input type="checkbox"/> 実質経済成長率【2012年実績】
京都ブランドが拡大・浸透すること	<input type="checkbox"/> 地域団体商標登録数
老舗のノウハウや技術力の継承が進むこと	<input checked="" type="checkbox"/> 西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼などを伝統工芸品を日常生活で使っている人の割合
	<input type="checkbox"/> 京もの認定工芸士の認定者数
ものづくり等による国際交流が進むこと	<input type="checkbox"/> 京都府上海ビジネスサポートセンターの支援による中小企業の成約件数（累計）
京都舞鶴港を通じた交易が活発化すること	<input type="checkbox"/> 京都舞鶴港におけるコンテナ取扱量
	<input type="checkbox"/> 京都舞鶴港における貿易取扱量
	<input type="checkbox"/> 京都舞鶴港の定期航路数
中小企業の業績が向上し、倒産・廃業が減ること	<input type="checkbox"/> 府内の倒産企業の件数
	<input type="checkbox"/> 中小企業応援隊による中小企業実訪問企業数
地域力を活用した産業が育つこと	<input type="checkbox"/> きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる新規創業支援件数（累計）
	<input type="checkbox"/> 地域づくり優良工事の数
京都観光のマーケットが拡大すること	<input checked="" type="checkbox"/> 外国人延べ宿泊者数（人口1,000人当たり）
	<input checked="" type="checkbox"/> 観光入込客数（人口1,000人当たり）
	<input type="checkbox"/> 府内を訪れた観光客の消費額総額
	<input type="checkbox"/> 府内を訪れた観光客の一人当たり消費額
	<input type="checkbox"/> 府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価（満足度）
農林水産物の生産と従事者の所得が拡大すること	<input checked="" type="checkbox"/> 農業産出額維持率【2013年実績】
	<input checked="" type="checkbox"/> 就業者一人当たり農業産出額（販売農家）【2010年実績】
	<input checked="" type="checkbox"/> 就業者一人当たり漁業生産額（海面漁業・海面養殖業）【2013年実績】
	<input type="checkbox"/> 農業・林業・漁業の生産活動による最終生産物の生産額 【2013年実績】
	<input type="checkbox"/> 新品種を導入した品目の販売額
	<input type="checkbox"/> 農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人等の数
ブランド農林水産物の販売が増えること	<input type="checkbox"/> 新たに定められる「ほんまもん京ブランド40」に該当する農林水産物・加工品の販売額
	<input type="checkbox"/> 京都府輸出促進協議会において輸出に向けて取り組んだ農林水産物・加工品数（累計）
農林水産物の生産のみならず加工や販売による農業ビジネスに取り組む農林漁業者が増えること	<input type="checkbox"/> きょうと農商工連携応援ファンドに取り組む事業者数

注：2013年版報告書以降に実績値の更新がない指標の推移、水準は( )付きで記載

②7 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
☆	91	
★	◎	京都産業立地促進事業費
☆	◎	北部産業活性化推進事業費
☆	◎	中小企業事業継続支援センター推進事業費
★	×	ものづくり技術応援事業費
★	×	次世代型植物工場研究費
		映画・コンテンツ産業推進事業費
		京都ブランド推進事業費
		産学公連携共同コーディネート推進事業費
☆	△	ベンチャー企業支援事業費
		「京もの祭」開催事業費
-	27	匠の公共事業費
☆	◎	伝統産業再構築支援事業費
☆	◎	「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクト費
		「クール京都」海外展開事業費
☆	△	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費
★	◎	京都舞鶴港クルーズ船受入環境整備費
☆	◎	
☆	◎	中小企業総合応援事業費
★	△	一商一特パワーアップ事業費
		京都版エコノミック・ガーデニング事業費
		消費刺激・生活支援事業費
		300商店街活性化支援事業費
☆	△	丹後新時代産業育成事業費
☆	◎	ものづくりパーク推進事業費
☆	◎	スポーツ観光聖地づくり事業費
☆	-	京都・花灯路推進事業費
☆	◎	京の七夕事業費
☆	△	「TANTANロングライド」開催支援事業費
☆	◎	「海の京都」観光推進事業費
		鴨川納涼事業費
★	△	京力農場づくり事業費
(☆)	(△)	中山間地域特産物生産応援事業費
★	×	成長型林業推進事業費
★	×	農業フロンティア事業費
☆	◎	
☆	◎	
★	△	
☆	△	ブランド京野菜需要開拓事業費
☆	◎	丹後・食の王国構想セカンドステージ推進費
		健康京野菜研究開発事業費
		京野菜等生産加速化事業費
★	◎	京力農業・農村総合対策事業費

### 凡例

#### ■ 府民意識調査

推移: ☆…前回より向上  
★…前回より後退  
水準: 割合(%)

#### ◆ 統計データ

推移: ☆…前回より改善(前回と同値を含む)  
★…前回より後退  
水準: ◎…全国順位5位以上  
○…全国平均以上  
△…全国平均未満  
×…全国下位5位以下

#### □ 施策指標

推移: ☆…前年度実績以上  
★…前年度実績未満  
水準: ◎…中期計画目標達成  
○…参考年間目標以上  
△…参考年間目標未満かつ基準値以上  
×…基準値未満

(共通) -…比較不能

## 【京都力の発揮】（５）交流連帯

### ① 数値目標に対する施策指標の達成状況

施策指標	進捗率 (%)	進捗率グラフ				
		0%	25%	50%	75%	100%
<b>Ⅲ 京都力の発揮</b>						
<b>(5) 交流連帯</b>						
1 府内主要都市間移動の所要時間(京都市～宮津市) (3月末現在)	0.0					
2 府内主要都市間移動の所要時間(京都市～福知山市) (3月末現在)	0.0					
3 府内主要都市間移動の所要時間(京都市～京丹後市) (3月末現在)	40.0					
4 府内主要都市間移動の所要時間(京都市～木津川市) (3月末現在)	100.0					
5 市役所・町村役場から最寄りのICまで30分以内の市町村の割合(3月末現在)	100.0					
6 KTR利用人数(発券ベースの乗車人員)(年間)	-160.0					
7 鉄道不便地域における、生活交通バス路線や地域と市街地等を結ぶ道路について、バス等がすれ違いできる幹線道路の割合	66.7					
8 道路運送法施行規則の規定に基づく「地域公共交通会議」を設置する市町村の割合(3月末現在)	57.4					
9 ブロードバンド世帯普及率(3月末現在)(ブロードバンド契約世帯数/総世帯数)	65.6					
10 関西文化学術研究都市(府域)に立地する文化学術研究機関等の数(3月末現在)	53.3					
11 海外の機関やサイエンスパークと関西文化学術研究都市等との間で結ぶ提携の数(3月末現在)	150.0					
12 乗合バスの利用者数(年間)						
13 府内における国際会議開催件数(年間)						

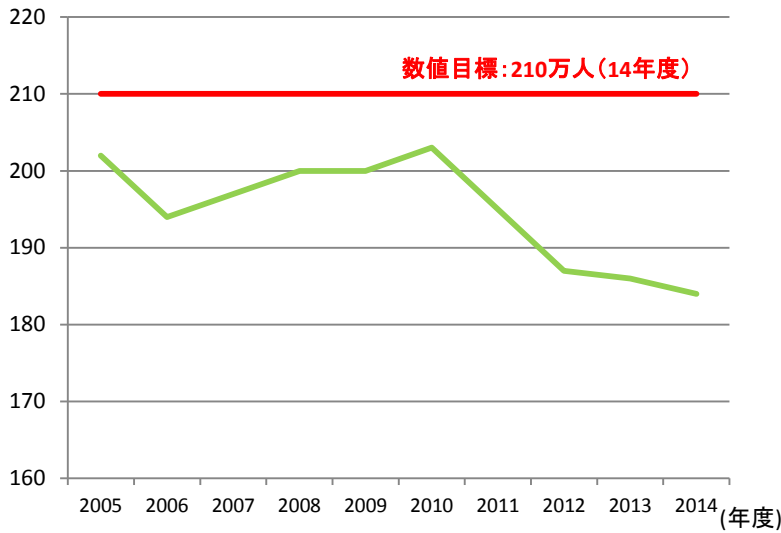
※ 基準値からの増減を目標とする指標等進捗率が表せない指標については、進捗率欄及び進捗率グラフ欄は斜線としている。

また、2014 年度実績が現時点で判明していない指標については、直近の実績をもとに進捗率を示している。

② 統計データ及び施策指標の動き

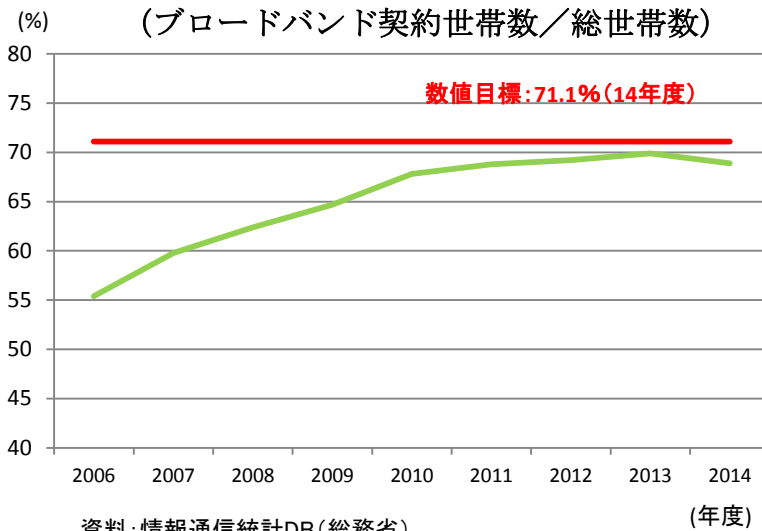
施策指標

(万人) KTR利用人数 (発券ベースの乗車人員)



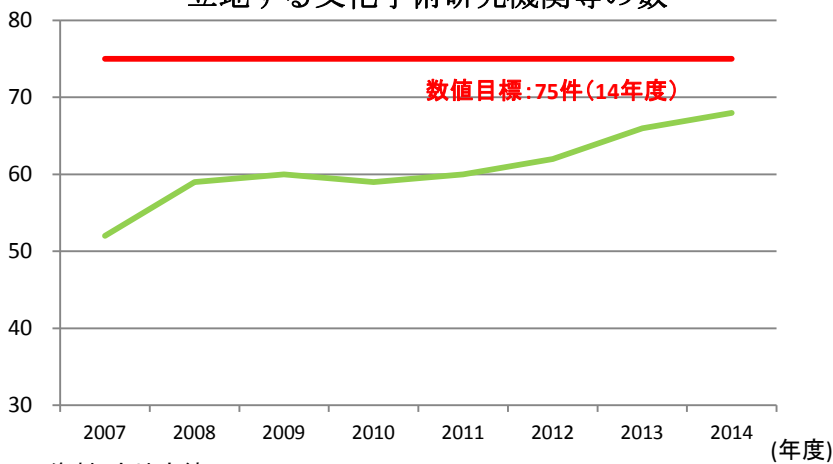
資料: KTRからの聞き取り

ブロードバンド世帯普及率  
(ブロードバンド契約世帯数/総世帯数)



資料: 情報通信統計DB(総務省)

(件) 関西文化学術研究都市 (府域) に  
立地する文化学術研究機関等の数



資料: 立地実績



### ③ 指標・事業連関表〔Ⅲ京都力の発揮(5)交流連帯〕

基本目標	指 標
全分野・事象 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合</li> </ul>
移動にかかる所要時間が短縮させること	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 道路改良率【2013年度実績】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 府内主要都市間移動の所要時間</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 市役所・町村役場から最寄りのICまで30分以内の市町村の割合</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> KTR利用人数（発券ベースの乗車人員）</li> </ul>
府域全体で生活移動基盤が拡充されること	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 鉄道不便地域（※）における、生活バス路線や地域と市街地等を結ぶ道路について、バス等がすれ違いできる幹線道路の割合</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 乗合バスの利用者数</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 道路運送法施行規則の規定に基づく「地域公共交通会議」を設置する市町村の割合</li> </ul>
府域全体でICTの利活用が進むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ブロードバンド世帯普及率（ブロードバンド契約世帯数／総世帯数）</li> </ul>
文化学術研究機関の立地が増えること	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 関西文化学術研究都市（府域）に立地する文化学術研究機関等の数</li> </ul>
海外の機関との提携等が増えること	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 海外の機関やサイエンスパークと関西文化学術研究都市等との間で結ぶ提携の数</li> </ul>
京都を訪れる外国からの有識者等が増えること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外国人の友人や留学生との交流がある人の割合</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 出国率（出国者数／総人口）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 国際会議参加者数（人口10万人当たり）【2013年実績】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 府内における国際会議開催件数</li> </ul>

※ 鉄道不便地域：鉄道があっても本数が少ない地域や駅までが遠い地域

注：2013年版報告書以降に実績値の更新がない指標の推移、水準は（ ）付きで記載

②7 当初予算等における主要な事業 ※「事業仕分け・評価調書」を作成した政策的な事業を基本に掲載		
推移	水準	
☆	91	
☆	△	JR奈良線複線化・高速化整備事業費
		北近畿タンゴ鉄道支援費
☆	◎	
★	×	
☆	△	生活交通ネットワーク構築支援費
☆	◎	公共交通ネットワーク活性化事業費
☆	△	
★	△	
☆	△	
☆	◎	
☆	15	
★	○	
★	◎	
☆	◎	

凡例	
■ 府民意識調査	
推 移: ☆…前回より向上	
★…前回より後退	
水 準: 割合(%)	
◆ 統計データ	
推 移: ☆…前回より改善(前回と同値を含む)	
★…前回より後退	
水 準: ◎…全国順位5位以上	
○…全国平均以上	
△…全国平均未満	
×…全国下位5位以下	
□ 施策指標	
推 移: ☆…前年度実績以上	
★…前年度実績未満	
水 準: ◎…中期計画目標達成	
○…参考年間目標以上	
△…参考年間目標未満かつ基準値以上	
×…基準値未満	
(共通) ー…比較不能	



## 【京都力の発揮】（6）希望に輝く地域づくり

中期計画、地域振興計画の立案に当たっては、①人口増加社会から人口減少社会へ②安定成長経済社会から低成長経済社会へ③絆社会から孤立社会へという3つの大きな変化を重視したが、府内における地域別の基礎指標の動きを見る限り、地域ごとの状況には、それぞれの地勢、人口構造、産業構造等を反映して、かなりの相違がみられる。

### ○人口動向

転入転出がほぼ均衡を維持している京都市を挟んで、関西文化学術研究都市を擁する南部の山城地域が増加傾向を保つ一方、南丹地域以北では減少傾向に拍車がかかっている。2010年までの10年間で、丹後地域では10%、中丹・南丹地域では5%人口が減少しているほか、府内全域で高齢化の進行、1世帯当たり人員の減少や高齢単身世帯割合の上昇等、厳しい状況が続いている。

### ○地域ごとの経済状況

2012年度の地域内総生産の状況を見ると、府内製造業の減少傾向に合わせ、相対的に製造業の占める割合が高い山城、南丹、中丹は縮小基調となっている。また、農林水産業や建設業の割合が高い丹後地域では、人口減少と高齢化の影響も相まって、地域内総生産の減少傾向が続いている。

### ○交流基盤整備の進展

成長戦略を推進するための基盤整備は着々と進んでいる。2010年度の舞鶴国際ふ頭（みずなぎふ頭）の供用開始、山陰近畿自動車道（宮津与謝道路）の開通のほか、2013年4月の京都第二外環状道路（大山崎JCT・IC－沓掛IC）開通、2014年7月の舞鶴若狭自動車道路の全線開通、2015年7月の丹波綾部道路（丹波IC－京丹波わちIC）の完成、2016年度開通を目指す山陰近畿自動車道（与謝天橋立IC－大宮森本IC）や、新名神高速道路（城陽JCT・IC－八幡JCT・IC）の着工等、順調に整備が進められている。

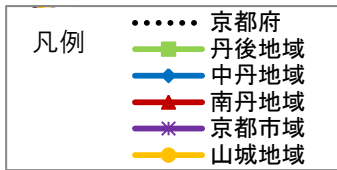
### ○「みやこ構想」及び広域的な地域振興プロジェクトの推進

こうしたなか、希望に輝く地域づくりを主導する15の「みやこ構想」が「明日の京都」のスタートと同時に府域全域で一斉に動き出し、構想ごとに実現したい地域の姿を「主たる目標」として明確化した上で、その進捗状況を具体的に測定するために設定された「みやこ構想指標」を活用したマネジメントも開始された。また、今年度から順次ターゲットイヤーを迎えている「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」の「3つの京都」構想を推進する「もうひとつの京都、行こう。」キャンペーンも開始された。

### ☆今後の課題

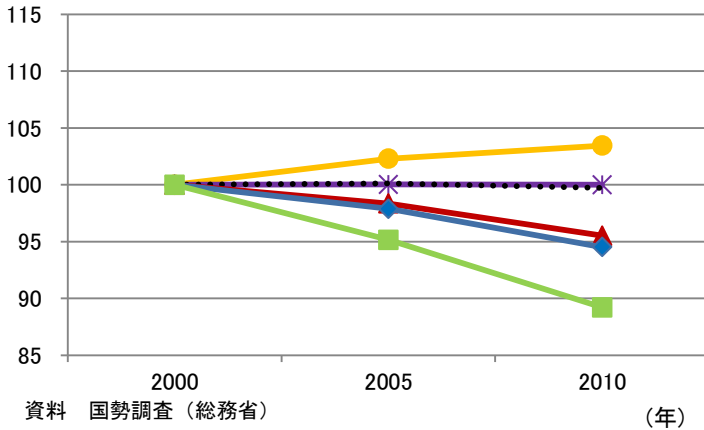
15の「みやこ構想」と3つの広域的プロジェクト（「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」）を地域振興計画と連携させながら展開し、地域経済の活性化や交流人口・定住人口の増加につなげていくことが必要である。

# 統計データ



【データ1】

人口 (2000年=100)



京都府では、10年国勢調査で、これまで増加傾向だった総人口が減少に転じた。

全国は微増 (100.2%)。東京都、神奈川県など9都府県で増加し、京都府をはじめ北海道、青森県など38道府県で減少。なお、京都府をはじめ兵庫県、静岡県など6府県で増加から減少に転じた。

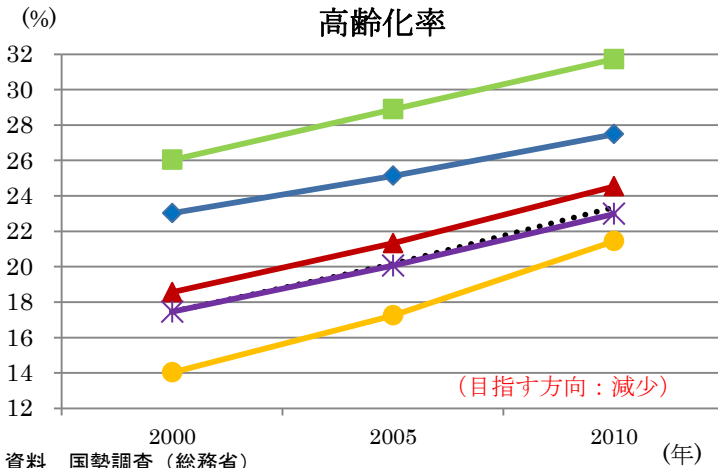
京都府 00年 2,644,391人  
05年 2,647,660人  
10年 2,636,092人

地域別に00年人口と比較すると、  
丹後地域 (89.2%)  
中丹地域 (94.5%)  
南丹地域 (95.5%)  
京都市域 (100.0% [微減])  
山城地域 (103.4%)

山城地域は、文化学術研究都市区域の市町で増加している。

【データ2】

高齢化率 (%)



京都府の高齢化率は、10年国勢調査で23.4%となり、急速に高齢化が進んでいる。(全国は23.0%)

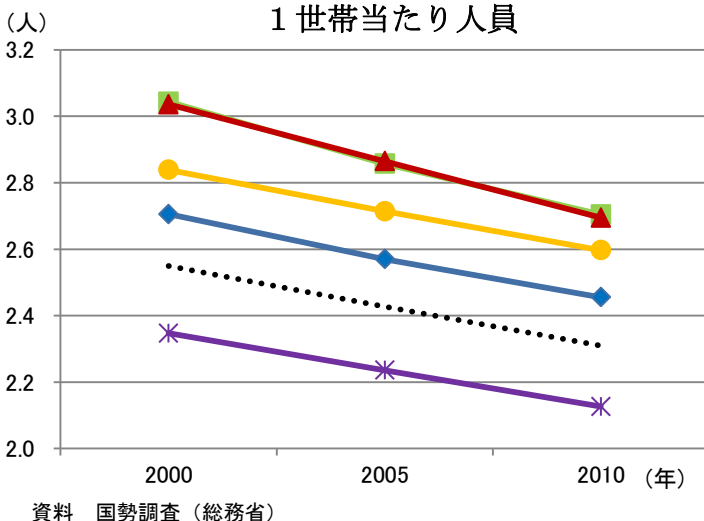
地域別に見ると、

	(10年)	(05年)	(00年)
丹後地域	31.7%	28.9%	26.0%
中丹地域	27.5%	25.1%	23.0%
南丹地域	24.5%	21.3%	18.6%
京都市域	23.0%	20.1%	17.5%
山城地域	21.4%	17.2%	14.0%

北部地域では、人口減少と高齢化が同時に進んでいる。これらの地域では、18歳になると進学・就職などで地域を離れる傾向が強く、担い手不足や集落維持問題、中心市街地の衰退など、地域の社会経済全般にわたって様々な影響を与えている。

【データ3】

1世帯当たり人員



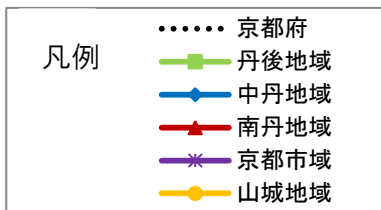
京都府を含め、全都道府県で世帯規模 (1世帯当たり人員) が減少している。

全国 10年 2.42人  
京都府 10年 2.31人  
05年 2.43人  
00年 2.55人

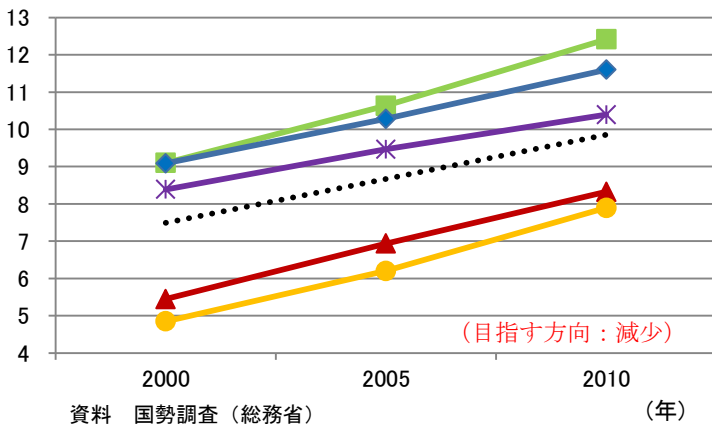
地域別に見ると、

	(10年)	(05年)	(00年)
丹後地域	2.70人	2.86人	3.04人
中丹地域	2.46人	2.57人	2.71人
南丹地域	2.69人	2.86人	3.04人
京都市域	2.13人	2.24人	2.35人
山城地域	2.60人	2.71人	2.84人

全ての地域で世帯規模の減少が続いているが、京都市域以外では、全国平均 (2.42人) を上回っている。



[データ4] 高齢単身世帯割合 (%)



世帯規模の縮小に合わせて、一人暮らし高齢者（65歳以上の単身世帯）の割合が増加を続けている。

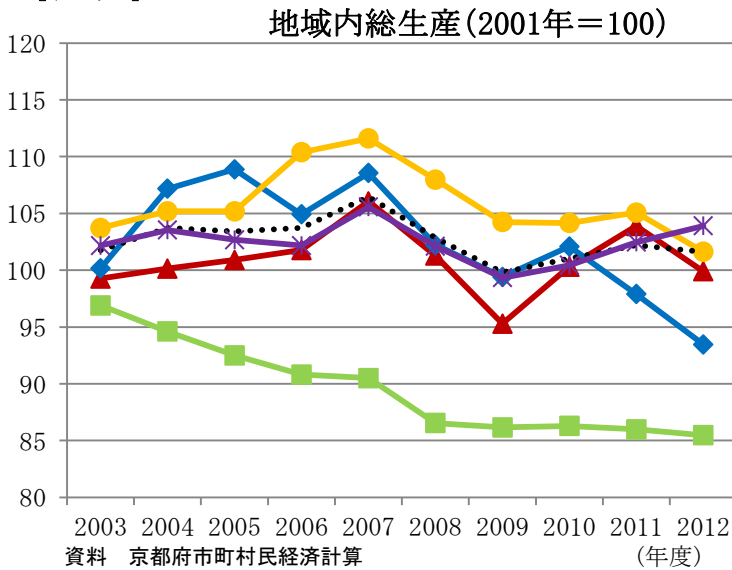
地域別に見ると、

	(10年)	(05年)	(00年)
丹後地域	12.4%	10.6%	9.1%
中丹地域	11.6%	10.3%	9.1%
南丹地域	8.3%	6.9%	5.4%
京都市域	10.4%	9.5%	8.4%
山城地域	7.9%	6.2%	4.8%

老年人口比率が高い丹後・中丹地域のほか、1世帯当たり人員が最も低い京都市も、高齢単身世帯割合が高くなっている。

農山漁村地域では、他地域以上に過疎化と高齢化が進み、集落の維持が困難となっている集落も見られる。

[データ5] 地域内総生産 (2001年=100)



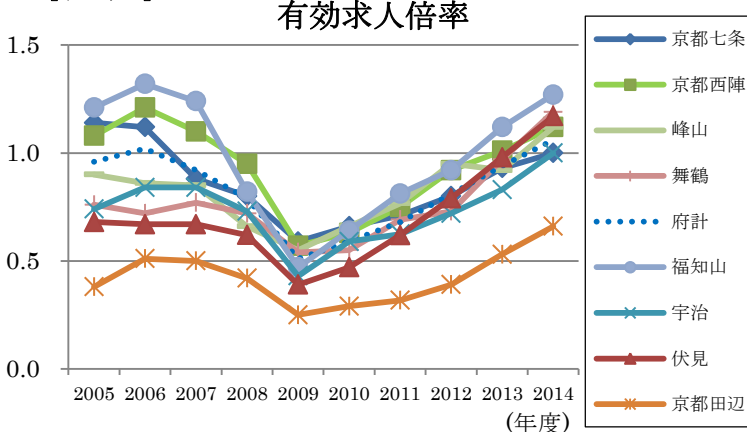
08~09年度にかけ、2年連続して5地域全てで対前年度マイナス成長となった。全地域でマイナスとなったのは01年度以来。

10年度は京都市域と南丹・中丹地域で、11年度は京都市域、山城・南丹地域でプラス成長を示すなど、京都府経済は08年のリーマンショックから回復しつつあったが、12年度は、製造業が減少したこと等により3年ぶりのマイナス成長となった。

丹後地域では、消費者の生活スタイルの多様化による和装需要の減少や近年の原油・原材料高等により、地域の基幹産業である織物業や機械金属業が大きく影響を受けて地域内総生産が、00年以降継続して低下している。

中丹地域や南丹地域では、京阪神地域との近接性や交通網整備の進展、豊かな農産物等に着目したものづくり企業の立地・活動が進んでいる。

[データ6] 有効求人倍率



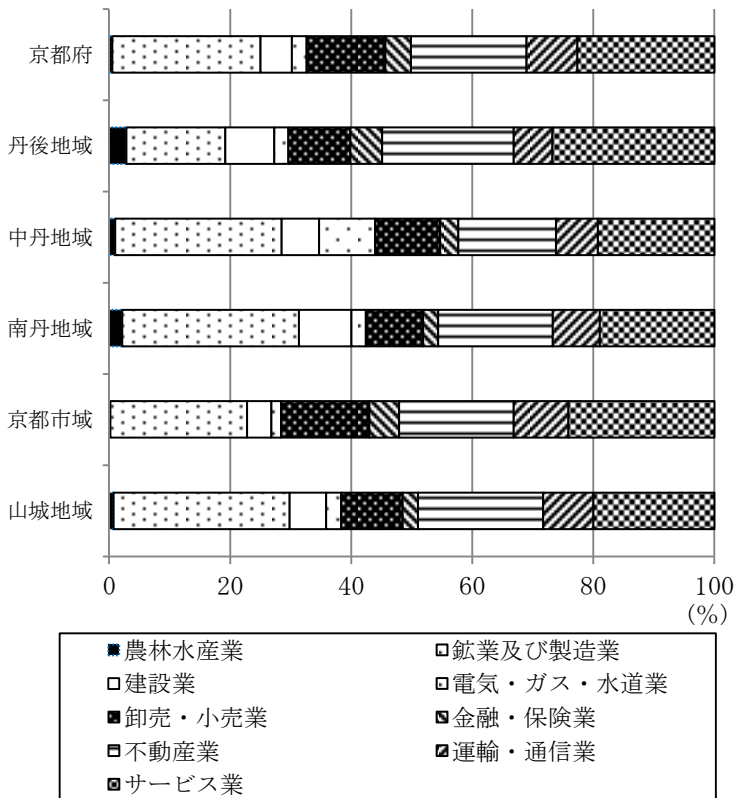
京都府全体の傾向として、06年度までは上昇していたが、07~09年度にかけては低下した（京都府計のピーク（06年）1.02）。

08年のリーマンショックの影響を受け、09年度は全地域で大幅に低下したが、京都府雇用創出・就業支援計画に基づく緊急雇用対策や、中小企業の緊急求人開拓などの取組効果もあり、10年度以降上昇が続き、14年度には1.06と8年ぶりに1.0を上回った。

資料: 労働市場年報 (ただし、2011年度分は、京都労働局発表資料「京都府内の雇用失業情勢」から京都府が算出)

[データ7]

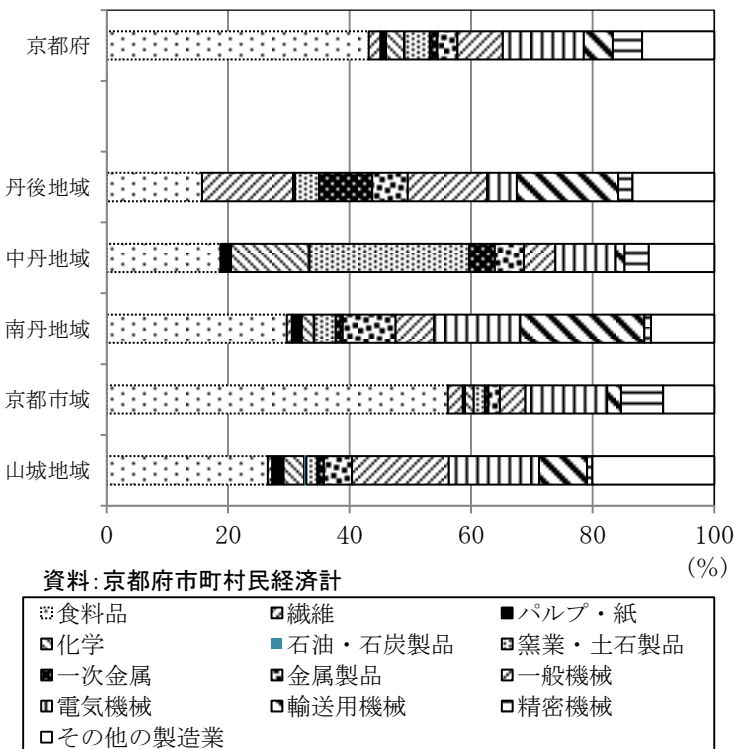
地域内総生産  
(直近(2012年度)の産業構成比)



資料:京都市市町村民経済計算

[データ8]

地域内総生産  
(直近(2012年度)の製造業構成比)



資料:京都市市町村民経済計

京都府全体と比べ、地域別の特徴をみると、

<産業構成比>

丹後地域 農林水産業、建設業、サービス業

中丹地域 鉱業・製造業、電気・ガス・水道業

南丹地域 農林水産業、鉱業・製造業、建設業

京都市域 卸売・小売業、サービス業

山城地域 鉱業・製造業、不動産業

<製造業構成比>

丹後地域 繊維、一次金属、一般機械、輸送用機械

中丹地域 化学、窯業・土石製品、一次金属

南丹地域 金属製品、輸送用機械

京都市域 食料品、精密機械

山城地域 パルプ・紙、一般機械、その他の製造業

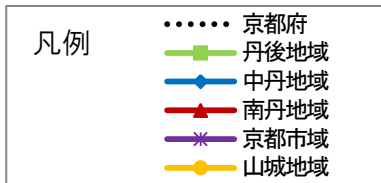
が高くなっている。

丹後地域は、農林水産業、織物、機械金属、観光が主要産業であるが、京阪神地域から約100km離れていることが、観光や産業振興を図る上での制約となっている。京都縦貫自動車道と舞鶴若狭自動車道が全線開通したことから、地域のさらなる活性化が期待される。

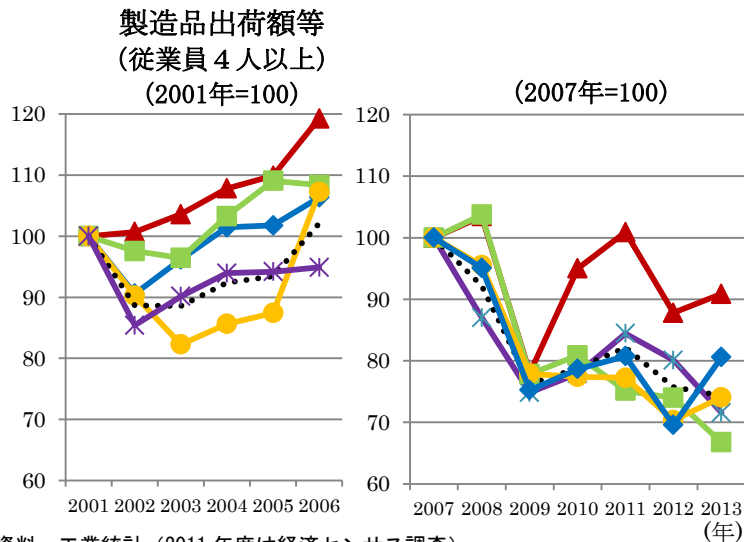
中丹地域は、北海道、北東アジアとの日本海側ゲートウェイとしての京都舞鶴港を擁し、京阪神地域との交通アクセスも向上するなか、長田野工業団地をはじめとした産業拠点も集積しており、関西北部・日本海側の中核的な地域となっている。京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の全線開通により地域のさらなる活性化が期待される。

南丹地域は、京阪神地域との近接性や、優れた自然環境や豊かな農産物に着目した加工食品をはじめとしたものづくり企業の立地・活動が進んでいる。また、13年4月に京都第二外環状道路が開通したことにより、地域のさらなる活性化が期待される。

山城地域は、木津川左岸地域を中心に、交通網が整備され、ものづくり企業の集積、関西文化学術研究都市のクラスター群への研究施設立地などが進んでいる。今後、新名神自動車道路の整備やJR奈良線の複線化などが進展することにより、観光や各種産業のさらなる活性化が期待される。

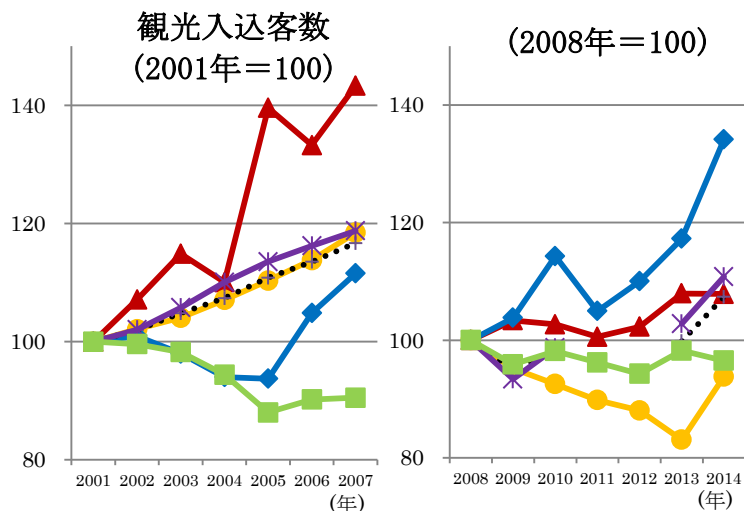


[データ9]



資料 工業統計 (2011年度は経済センサス調査)

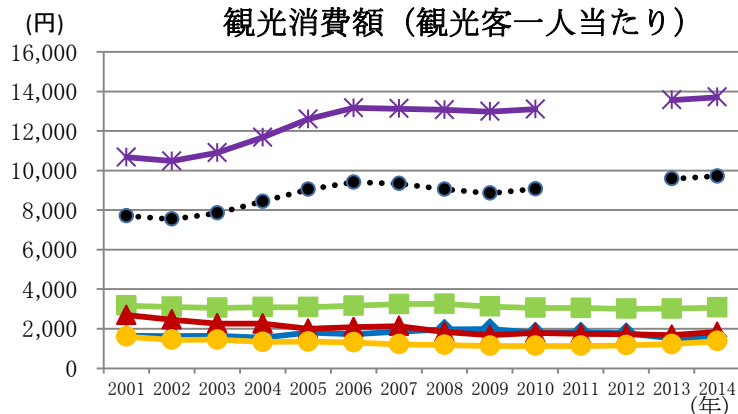
[データ10]



資料: 京都府観光入込客数

(注)08年から、調査地点が変更されたため、07年までの実績値との比較ができない。

[データ11]



京都府全体の傾向として、01年のITバブル崩壊の影響により、02年は南丹以外の全ての地域で対前年比マイナスとなった。特に、山城地域と京都市域は、IT関連企業の立地が多いため大きな影響を受けた。

山城・丹後地域は03年までその影響が及んだものの、両地域を含む全地域が06年まで増加傾向で推移した。なお、京都市域のみ、01年時点の水準まで回復しなかった。

08年のリーマンショックや原油高の影響などで、繊維や金属、各種機械、電子部品など幅広く製造業の業績が悪化し、09年は全地域で大幅な減となったが、10年は山城地域を除き、他地域は増加に転じた。12年には、円高と原油などエネルギー価格の上昇により全地域で減少したが、13年には山城・中丹・南丹地域で増加に転じた。

(注)07年調査から、調査項目が変更されたため、06年までの実績値との比較ができない。また、11年は経済センサス調査の実施に伴い、工業統計調査は実施されていないため、経済センサス調査に基づいた数値を使用。

14年の府内における観光入り込み客数等は、和食のユネスコ無形文化遺産認定や祇園祭の後祭復活等を受け、京都市域の入込客数が大幅に増加し、08年の7,799万人を大幅に超える8,375万人、また観光消費額も13年の7,459億円を上回る8,139億円と、共に過去最高を記録。

山城地域では、大山崎山荘がドラマの舞台になったことや、阪急西山天王山駅開業、宇治市の主要観光地の改修完了、木津川運動公園の新規開園等により、地域全体として増加し、入込客は前年比114.8%となった。

南丹地域は、天候不順だったもののインバウンドの増加効果により、入込客は前年比99.9%とほぼ横ばいとなった。

中丹地域は、8月豪雨により減少が見られたものの、舞鶴若狭自動車道の開通効果及び海フェスタ京都の開催等により、地域全体として増加し、入込客は前年比114.4%となった。

丹後地域は、海の京都観光圏の認定による宣伝効果や、新規開設した山陰海岸ジオパーク京丹後市情報センターの集客などの要因はあったものの、夏季の天候不順を受け、地域全体として減少し、入込客は前年比98.3%となった。

(注)09年12月に観光庁が「観光入込客統計に関する共通基準(年間入込客数1万人以上の観光地点等実績から推計)」を導入したが、経年変化を把握する観点から従来法による調査結果を示した。なお、京都市域分の集計結果が未公表のため、京都市域・京都府(総計)の11・12年値は未計上。